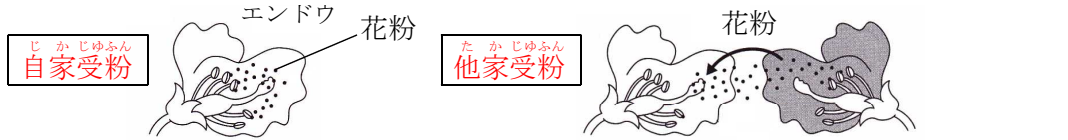


問7(ア)

自家受粉を親、子、孫と代を重ねてもその形質がすべて親と同じである場合、これらの個体を (X) といい、(X) の対立形質どうしをかけ合わせたときは必ず片方の形質しか現れない。これを (Y) の法則という。

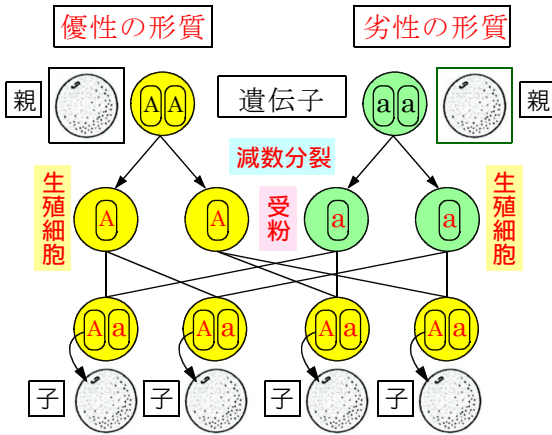


- ① 1つの花の中の花粉とめしべが受粉することを何というか。----- 自家受粉
- ② 親、子、孫と代を重ねてもすべての形質が同じことを何というか。----- X 純系
- ③ エンドウの種子の形の「丸」と「しわ」の①のように、
 どちらしか現れない①どうしのことを何というか。 対立形質
- ④ 対立形質をもつ純系の親どうしをかけあわせた場合、その子には--- Y 優性の法則
 必ず片方の形質だけが現れる。このことを何というか。

答 1 X純系, Y優性

問7(イ)

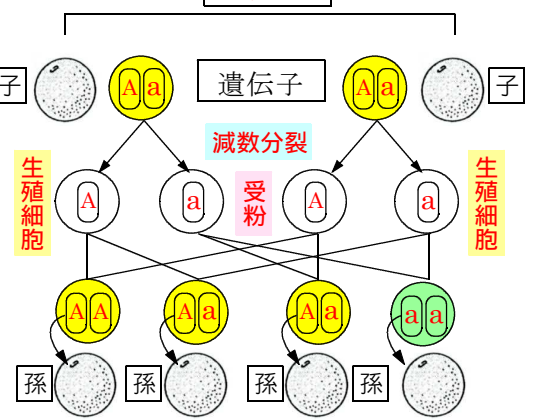
[実験1] で、受粉させてできた子の代のエンドウのもつ遺伝子の組み合わせはどれか。子葉の色が黄色となる形質を伝える遺伝子をA、子葉の色が緑色となる形質を伝える遺伝子をaとする。



実験1でできた子の代のエンドウ

答 2. Aa

問7(ウ)



実験2でできた孫の代のエンドウ

答 3. 3 : 1

問7(エ)

[実験2] でできた孫の代のエンドウについて、子葉の色が黄色のエンドウと子葉の色が緑色のエンドウの数はおよそ何対何になると考えられるか。

